

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- **BLANK PAGES**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

#2

Docket No. 1504.1004/JDH

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:)
Shuji KIMURA)
Serial No.: Unassigned) Group Art Unit: Unassigned
Filed: April 23, 2001) Examiner: Unassigned
For: OPERATION FACILITATING)
SYSTEM FOR DATA)
PROCESSING APPARATUS)



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Honorable Commissioner of
Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231*

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign applications:

Japanese Patent Application No. 2000-381557
Filed: December 15, 2000.

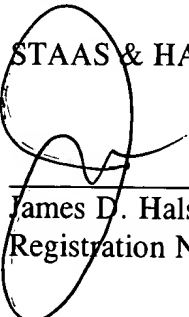
It is respectfully requested that the applicants be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: April 23, 2001

By:


James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 Eleventh Street, N.W., Suite 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年12月15日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-381557

出 願 人

Applicant (s):

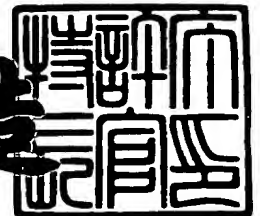
富士通株式会社

富士通周辺機株式会社

2001年 3月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3018165

【書類名】 特許願

【整理番号】 0095278

【提出日】 平成12年12月15日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G07G 1/00
H04N 1/00
G03G 21/00

【発明の名称】 情報処理装置、情報処理システム、および記録媒体

【請求項の数】 7

【発明者】

【住所又は居所】 兵庫県加東郡社町佐保 3 5 番 富士通周辺機株式会社内

【氏名】 木村 修治

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【特許出願人】

【識別番号】 592019877

【氏名又は名称】 富士通周辺機株式会社

【代理人】

【識別番号】 100086380

【弁理士】

【氏名又は名称】 吉田 稔

【選任した代理人】

【識別番号】 100103078

【弁理士】

【氏名又は名称】 田中 達也

【選任した代理人】

【識別番号】 100105832

【弁理士】

【氏名又は名称】 福元 義和

【連絡先】 06-6764-6664

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 024198

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9807281

【包括委任状番号】 9808236

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置、情報処理システム、および記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 任意の入力操作に応じて各種の情報処理動作を行う情報処理装置であって、

本装置上で本来行うべき入力操作手続きに関する事項をジョブ情報とし、このジョブ情報を通信ネットワーク経由により外部の通信端末装置から受信するジョブ情報受信手段と、

上記ジョブ情報受信手段により受信された上記ジョブ情報を登録管理するジョブ情報登録管理手段と、

上記ジョブ情報登録管理手段に登録管理された上記ジョブ情報をユーザが指定するためのジョブ情報指定手段と、

上記ジョブ情報指定手段を介して上記ジョブ情報が指定された場合、そのジョブ情報に基づいて情報処理動作を制御する制御手段と、

を有することを特徴とする、情報処理装置。

【請求項2】 上記ジョブ情報受信手段は、上記ジョブ情報とともに暗証番号を受信し、上記ジョブ情報登録管理手段は、上記暗証番号とジョブ番号とを対応付けて各ジョブ情報を登録管理する一方、上記制御手段は、上記ジョブ情報指定手段を介して入力された上記ジョブ番号と上記暗証番号とが対応する場合にのみ、これらの番号に応じたジョブ情報に基づく情報処理動作を許可する、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】 上記ジョブ情報受信手段は、上記通信ネットワークとしてのインターネットを経由して上記通信端末装置から送信された上記ジョブ情報を受信する、請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】 上記ジョブ情報受信手段は、上記インターネットを経由して上記ジョブ情報の送信フォームを上記通信端末装置に提供する一方、その送信フォームに従って上記通信端末装置上で入力された事項を上記ジョブ情報として受信する、請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】 上記ジョブ情報受信手段および／または上記ジョブ情報登録

管理手段は、本体とは別のコンピュータにより構成されている、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 6】 任意の入力操作に応じて各種の情報処理動作を行う情報処理装置と、この情報処理装置と通信ネットワークを経由して各種の情報をやり取りする通信端末装置とを備えた情報処理システムであって、

上記情報処理装置上で本来行うべき入力操作手続きに関する事項をジョブ情報とし、このジョブ情報を上記通信ネットワーク経由により上記通信端末装置から受信するジョブ情報受信手段と、

上記ジョブ情報受信手段により受信された上記ジョブ情報を登録管理するジョブ情報登録管理手段と、

上記ジョブ情報登録管理手段に登録管理された上記ジョブ情報を上記情報処理装置上でユーザが指定するためのジョブ情報指定手段と、

上記ジョブ情報指定手段を介して上記ジョブ情報が指定された場合、そのジョブ情報に基づいて上記情報処理装置上の情報処理動作を制御する制御手段と、

を有することを特徴とする、情報処理システム。

【請求項 7】 任意の入力操作に応じて各種の情報処理動作を行う情報処理装置と、この情報処理装置と通信ネットワークを経由して各種の情報をやり取りする通信端末装置とを備えた情報処理システムを利用する上で、上記通信端末装置にて実行すべきプログラムが記録された記録媒体であって、

上記情報処理装置上で本来行うべき入力操作手続きに関する事項をジョブ情報とし、このジョブ情報を上記通信端末装置上で作成するためのジョブ情報作成プログラムと、

上記ジョブ情報作成プログラムに基づいて作成された上記ジョブ情報を、上記通信ネットワークを経由して上記情報処理装置に送信して登録管理させるためのジョブ情報送信プログラムと、

を含むプログラムが記録されていることを特徴とする、記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本願発明は、たとえばコピー機やファクシミリ装置、あるいはキャッシュディスプレイなどといった各種の情報処理装置に関し、特に、この種の入力操作性を飛躍的に改善できるものに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、たとえばコピー機やファクシミリ装置、あるいはキャッシュディスプレイなどといった情報処理装置は、多機能化が進められる一方で、マンマシン・インターフェイスの点から入力操作性に関して、いかに使い良くするかが重要視されている。

【0003】

この点に関し、従来においては、操作パネル部を大型化し、直接入力操作の対象とされるスイッチやキーなどの数を増やし、表示画面のサイズを大きくし、タッチパネルを採用するなどといった工夫が施されていた。これらの参考例として、図12に従来のコピー機における操作パネル部の一例を示し、図13に従来のファクシミリ装置における操作パネル部の一例を示す。これらの図において、符号100がスイッチやキーなどを示し、符号200が表示画面部を示す。特に、図12に示す表示画面部200は、タッチパネルにより構成されている。

【0004】

一方、コストダウンが要求される装置などにおいては、限られた構成部品で多機能化を実現するために、1つのキーに複数の機能動作を対応させたり、表示画面が比較的小さくても階層メニュー形式で表示を行うように工夫されているが、決して使い勝手が良いとは言えない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

以上説明したように、入力操作性とコストダウンとは両立しない関係にあり、前者を優先すれば操作パネル部が大きくなってコストダウンを図れない一方、後者を優先すれば入力操作が複雑となって使い勝手が悪くなるという難点があった。

【0006】

また、入力操作性に限って言えば、各種の機能に応じたスイッチやキーの多さにユーザが戸惑い、落ち着いて入力操作を行うことができず、それに伴って操作ミスを引き起こし、さらには操作時間が長引くという操作上の問題があった。たとえば、キャッシュディスペンサーを用いて振り込み操作などを行う場合には、順番待ちの人がいる状況の中で落ち着いてゆっくりと必要な入力操作を行うことができなかった。

【0007】

【発明の開示】

そこで、本願発明は、上記した事情のもとで考え出されたものであって、必要な入力操作手続きに関する情報を、落ち着いた環境の下であらかじめ作成して登録しておくことができ、そうして登録された情報を用いて入力操作性を飛躍的に改善でき、入力操作の仕組みを単純化してコストダウンを図ることができる情報処理装置、情報処理装置を含む情報処理システム、および情報処理システムを利用する上で通信端末装置に適用される記録媒体を提供することをその課題とする。

【0008】

上記課題を解決するため、本願発明では、次の技術的手段を講じている。

【0009】

本願発明の第1の側面によれば、任意の入力操作に応じて各種の情報処理動作を行う情報処理装置であって、本装置上で本来行うべき入力操作手続きに関する事項をジョブ情報とし、このジョブ情報を通信ネットワーク経由により外部の通信端末装置から受信するジョブ情報受信手段と、ジョブ情報受信手段により受信されたジョブ情報を登録管理するジョブ情報登録管理手段と、ジョブ情報登録管理手段に登録管理されたジョブ情報をユーザが指定するためのジョブ情報指定手段と、ジョブ情報指定手段を介してジョブ情報が指定された場合、そのジョブ情報に基づいて情報処理動作を制御する制御手段とを有することを特徴とする、情報処理装置が提供される。

【0010】

好ましい実施の形態によれば、ジョブ情報受信手段は、ジョブ情報とともに暗

証番号を受信し、ジョブ情報登録管理手段は、暗証番号とジョブ番号とを対応付けて各ジョブ情報を登録管理する一方、制御手段は、ジョブ情報指定手段を介して入力されたジョブ番号と暗証番号とが対応する場合にのみ、これらの番号に応じたジョブ情報に基づく情報処理動作を許可する。

【0011】

他の好ましい実施の形態によれば、ジョブ情報受信手段は、通信ネットワークとしてのインターネットを経由して通信端末装置から送信されたジョブ情報を受信する。

【0012】

さらに他の好ましい実施の形態によれば、ジョブ情報受信手段は、インターネットを経由してジョブ情報の送信フォームを通信端末装置に提供する一方、その送信フォームに従って通信端末装置上で入力された事項をジョブ情報として受信する。

【0013】

さらに他の好ましい実施の形態によれば、ジョブ情報受信手段および／またはジョブ情報登録管理手段は、本体とは別のコンピュータにより構成されている。

【0014】

つまり、本願発明の第1の側面によれば、本来は情報処理装置を直接使用して行うべき入力操作手続きに関する事項をジョブ情報とし、このジョブ情報を通信ネットワークを介して外部の通信端末装置から受信する一方、実際にユーザが情報処理装置上で入力操作を行う場合には、先の受信に応じて登録しておいたジョブ情報を指定することにより、必要な一連の入力操作を速やかに終えることができる。したがって、ユーザは、複雑で面倒な入力操作手続きに関する事項をジョブ情報としてまとめ、このジョブ情報を外部の通信端末装置を使用して落ち着いた環境の下で作成できる一方、通信ネットワークを介して情報処理装置に登録しておくことができる。また、そうして情報処理装置に登録されたジョブ情報を用い、必要な一連の入力操作を速やかに終えることができ、実際に入力操作を行う必要はないので、情報処理装置を直接使用する際の入力操作性を飛躍的に改善することができる。さらに、情報処理装置を使用して入力操作を行う場合には、登

録済みのジョブ情報を指定するだけで良いので、入力操作の仕組みが単純となり、入力操作のための構成部品を簡素化してコストダウンを図ることができる。

【 0 0 1 5 】

一方、ジョブ情報とともに暗証番号を受信し、この暗証番号とジョブ番号とを対応付けてジョブ情報を登録しておく場合には、ジョブ番号のほかに暗証番号を入力しなければ所望とする情報処理動作が行われず、暗証番号の入力を要求することで機密性を高めることができる。また、ユーザは、自宅などのコンピュータを用いてインターネット経由でジョブ情報を送信することができ、ジョブ情報専用の作成ツールや送信ツールなどがコンピュータ上に無くとも、インターネットを経由して情報処理装置から提供される送信フォームに従って簡単にジョブ情報を入力して送信することができる。さらに、本体とは別のコンピュータにジョブ情報を受信したり、あるいはジョブ情報を登録管理する機能を持たすことにより、情報処理装置の本体機能を実質的に変更することなく、簡単に情報処理システムを構築することができる。

【 0 0 1 6 】

また、本願発明の第2の側面によれば、任意の入力操作に応じて各種の情報処理動作を行う情報処理装置と、この情報処理装置と通信ネットワークを経由して各種の情報をやり取りする通信端末装置とを備えた情報処理システムであって、情報処理装置上で本来行うべき入力操作手続きに関する事項をジョブ情報とし、このジョブ情報を通信ネットワーク経由により通信端末装置から受信するジョブ情報受信手段と、ジョブ情報受信手段により受信されたジョブ情報を登録管理するジョブ情報登録管理手段と、ジョブ情報登録管理手段に登録管理されたジョブ情報を情報処理装置上でユーザが指定するためのジョブ情報指定手段と、ジョブ情報指定手段を介してジョブ情報が指定された場合、そのジョブ情報に基づいて情報処理装置上の情報処理動作を制御する制御手段とを有することを特徴とする、情報処理システムが提供される。

【 0 0 1 7 】

このような本願発明の第2の側面によれば、上記した本願発明の第1の側面によるものと同様の効果を得ることができる。

【0018】

さらに、本願発明の第3の側面によれば、任意の入力操作に応じて各種の情報処理動作を行う情報処理装置と、この情報処理装置と通信ネットワークを経由して各種の情報をやり取りする通信端末装置とを備えた情報処理システムを利用する上で、通信端末装置にて実行すべきプログラムが記録された記録媒体であって、情報処理装置上で本来行うべき入力操作手続きに関する事項をジョブ情報とし、このジョブ情報を通信端末装置上で作成するためのジョブ情報作成プログラムと、ジョブ情報作成プログラムに基づいて作成されたジョブ情報を、通信ネットワークを経由して情報処理装置に送信して登録管理させるためのジョブ情報送信プログラムとを含むプログラムが記録されていることを特徴とする、記録媒体が提供される。

【0019】

このような本願発明の第3の側面によれば、記録されたプログラムに基づいて通信端末装置のCPUを動作させることにより、情報処理装置にジョブ情報を送信して登録させることができ、上記した本願発明の第1の側面によるものと同様の効果を得ることができる。

【0020】

本願発明のその他の特徴および利点については、以下に行う発明の実施の形態の説明から、より明らかになるであろう。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下、本願発明の好ましい実施の形態について、図面を参照して具体的に説明する。

【0022】

図1は、本願発明の一実施形態として、情報処理装置を含む情報処理システムの全体を示す概要図である。図1に示すように、情報処理システムは、情報処理装置としてのキャッシュディスペンサー機構A、通信端末装置としてのパーソナルコンピュータC1～C3や携帯型電話機D、およびこれらを結ぶ通信ネットワークNなどを有して構成される。キャッシュディスペンサー機構Aは、ユーザが

預金の振り込みや引き出しなどの際に直接入力操作を行うための操作機本体A1と、操作機本体A1を運用管理するとともに、通信ネットワークNとの間で各種の情報をやり取りするメインコンピュータA2とを有して構成されている。通信ネットワークNは、物理的に言えば公衆電話回線や移動体通信網、さらには専用回線などによって構成されるが、その運用形態の観点から言うといわゆるインターネットとしての役目を負う。パーソナルコンピュータC1～C3は、コンピュータとしての基本的な構成のほか、インターネットに接続可能なハードウェアおよびソフトウェアを備えたものである。携帯型電話機Dは、音声による送受話機能のほか文字情報を送受信する機能を備え、パーソナルコンピュータC1～C3と同様にインターネットに接続可能な構成を備えたものである。

【0023】

なお、本願発明の要部は、情報処理装置としてのキャッシュディスプレイ機構Aにあって、パーソナルコンピュータC1～C3や携帯型電話機D、通信ネットワークNは、既存のものがそのまま利用される。特に、パーソナルコンピュータC1～C3は、図示しないモデムあるいはターミナルアダプタ、さらにはルータなどを介して通信ネットワークN（インターネット）に接続された状態で、WWWブラウザ（「World Wide Web Browser」。「Webブラウザ」とも言う。）などを用いてWebページを閲覧可能なインターネット上におけるクライアントとしての役割を果たす。携帯型電話機Dも、パーソナルコンピュータC1～C3と同様にインターネット上におけるクライアントとしての役割を果たすものであるが、比較的小さな液晶画面を用いてWebページの閲覧を可能とするため、一般的なページ記述言語であるHTML（Hyper Text Markup Language）を簡略化したコンパクトHTMLを解釈してWebページを表示する機能を備える。これらパーソナルコンピュータC1～C3、携帯型電話機D、および通信ネットワークNについては、その詳細な図示説明を省略する。

【0024】

図2は、情報処理装置としてのキャッシュディスプレイ機構Aの構成を示すブロック図であって、この図に示すように、キャッシュディスプレイ機構Aは、操作機本体A1とメインコンピュータA2とが互いに別体として構成されてお

り、操作機本体A1は、銀行などの店舗内でユーザが使用する場所に設置される一方、メインコンピュータA2は、操作機本体A1と専用線A3を介して接続され、操作機本体A1の設置場所とは別に設置される。なお、操作機本体A1とメインコンピュータA2とは、必ずしも一対として設けられるのではなく、実際の情報処理システムにおいては、一つのメインコンピュータA2が多数の操作機本体A1を運用管理する関係にあるとされる。

【0025】

操作機本体A1は、マイコン制御部1、入力操作部2、および現金出納部3などを具備して概略構成されている。マイコン制御部1は、いわゆるマイクロコンピュータにより操作機本体A1の動作を制御するものであるが、基本的には、後述のメインコンピュータA2と制御コマンドをやり取りした上で各種の情報処理動作を制御する。入力操作部2は、マイコン制御部1からの指令に応じて各種の情報を提示するための画面や、ユーザのキー入力操作に応じた信号をマイコン制御部1に伝えるためのキー入力検出機構などを備える。また、入力操作部2には、キャッシュカードや預金通帳などの磁気記録部分を読み取るカードリーダーなども備えられている。現金出納部3は、現金をユーザから受け取ったり、あるいはユーザに対して差し出したりするための機械的動作を行う。

【0026】

メインコンピュータA2は、CPU10、ROM11、RAM12、ストレージデバイス13、インターフェイス14、ネットワーク接続部15、および本体通信部16などを具備して概略構成されている。CPU10、ROM11、RAM12、ストレージデバイス13、およびインターフェイス14は、バス線17により相互に接続されている。バス線17には、アドレスバス、データバス、および制御信号線が含まれる。インターフェイス14には、ネットワーク接続部15および本体通信部16が接続されている。

【0027】

CPU10は、メインコンピュータA2全体の動作を制御する。ROM11は、CPU10が実行すべきプログラムなどを記憶している。RAM12は、CPU10の作業領域や各種データの格納領域などを提供する。ストレージデバイス

13は、データやプログラムなどを保存しておくハードディスクや磁気テープなどであって、特にこのストレージデバイス13には、顧客に関する情報のほか、WWWサーバとして機能するためのソフトウェアが格納されている。インターフェイス14は、バス線17と外部との間でデータを取り交わす。ネットワーク接続部15は、たとえばルータやモデムなどであって、通信ネットワークNとの間でデータをやり取りする。本体通信部16は、操作機本体A1との間で専用線A3を介してデータをやり取りする。

【0028】

要点について言うと、操作機本体A1は、入金のための振り込み操作や預金の引き出し操作などの際、ユーザがカード用暗証番号などを入力するために入力操作部2が設けられたものであり、カード用暗証番号は、キャッシュカードや預金通帳などから読み取られた磁気記録データとともにメインコンピュータA2に対して通知される。メインコンピュータA2のストレージデバイス13には、磁気記録データに基づく顧客に関する情報に対し、預金台帳データやカード用暗証番号が対応付けて登録管理されており、CPU10は、顧客に関する情報とカード用暗証番号とが一致する場合に限り、ユーザから要求された振り込みや引き出しのための必要な処理動作を制御する。たとえば、入金のための振り込み操作の場合には、現金出納部3に収められた紙幣や硬貨が内部に取り込まれ、それに応じた入金金額が預金台帳データに加えられる。預金の引き出し操作の場合には、出金金額が預金台帳データから差し引かれ、その分の現金が現金出納部3を介して差し出される。

【0029】

また、振り込み操作には、相手先の指定された口座に入金する場合もあり、この場合、振込先銀行名、金融機関の種類、支店名、預金種目、口座番号、金額、受取人カタカナ名、受取人漢字名、依頼人カタカナ名、依頼人漢字名、依頼人住所などというように、非常に多くの情報を入力する必要がある。そのため、相手先振り込み専用のカードをあらかじめ作製しておき、このカードを用いて入力の手間を省くことも可能とされているが、カード作製時には、操作機本体A1の入力操作部2を介して上記したようにたくさんの情報を入力する必要があり、いず

れにしても入力操作が面倒とされる。

【0030】

その点、本実施形態によれば、入力操作を簡単に行うことができる。つまり、メインコンピュータA2は、インターネット上におけるWWWサーバとしての役割を果たし、クライアントとしてのパーソナルコンピュータC1～C3や携帯型電話機Dからのアクセスに応じてCGI (Common Gateway Interface) プログラムを起動する。これにより、パーソナルコンピュータC1～C3や携帯型電話機Dでは、メインコンピュータA2から提供された対話型のWebページが表示される。このWebページには、上記した振り込み操作や引き出し操作などの際に本来入力すべき事項（以下、「ジョブ情報」と言う。）をメインコンピュータA2に送信するための送信フォームが含まれる。

【0031】

ユーザは、パーソナルコンピュータC1～C3や携帯型電話機Dの画面に表示された送信フォームに従ってジョブ情報を入力するとともに、このジョブ情報をメインコンピュータA2に送信することができる。また、送信フォームにおいては、CGIプログラムに基づいてジョブ用暗証番号の入力が要求され、ユーザは、任意に決めたジョブ用暗証番号とともにジョブ情報を送信できる。なお、ジョブ用暗証番号は、上記したカード用暗証番号と同じであっても異なるものであってもいずれでも良い。

【0032】

メインコンピュータA2は、パーソナルコンピュータC1～C3や携帯型電話機Dからジョブ情報およびジョブ用暗証番号を受信すると、これらにジョブ番号を割り当ててエントリジョブ情報とし、このエントリジョブ情報をストレージデバイス13を用いて登録管理する。なお、ジョブ情報がメインコンピュータA2にて受け付けられた場合には、その直後、送信元のパーソナルコンピュータC1～C3や携帯型電話機Dに対し、たとえばジョブ番号「78」として受け付けた旨のWebページが返送される。このWebページをパーソナルコンピュータC1～C3や携帯型電話機Dの画面上で確認したユーザは、直前に入力したジョブ用暗証番号とジョブ番号とを関連づけて憶えておくことができる。

【0033】

パーソナルコンピュータC1～C3や携帯型電話機Dを使用してジョブ情報およびジョブ用暗証番号をメインコンピュータA2に送信したユーザは、その後、操作機本体A1の入力操作部2を介して以下のような操作を行うだけで良い。

【0034】

まず、ユーザは、入力操作部2を介してジョブ番号を入力する。すると、入力操作部2には、ジョブ用暗証番号の入力画面が表示され、ユーザは、ジョブ番号に続いてそれに対応したジョブ用暗証番号を入力できる。ユーザによりジョブ番号およびジョブ用暗証番号が入力されると、メインコンピュータA2のCPU10は、ストレージデバイス13に登録管理されているエントリジョブ情報に基づいて、入力されたジョブ番号およびジョブ用暗証番号が正しく対応するか否かを調べる。ジョブ番号およびジョブ用暗証番号が正しく対応する場合、これらに応じたジョブ情報が呼び出され、インターネットを経由して先に登録しておいたジョブ情報に応じた振り込みなどに関する処理動作が行われる。要するに、ユーザは、インターネットを経由してメインコンピュータA2にジョブ情報をあらかじめ登録しておくことにより、操作機本体A1を直接使用する際には、実質的にジョブ番号とジョブ用暗証番号とを入力するだけで簡単に振り込み操作や引き出し操作を済ませることができるのである。

【0035】

次に、ジョブ情報を登録する場合の動作と、振り込みの入力操作を行う場合の動作について図面を参照して説明する。

【0036】

図3は、ジョブ情報を登録する場合の動作手順を示すフローチャート、図4は、振り込みの入力操作を行う場合の動作手順を示すフローチャートである。また、図5および図6は、ジョブ情報の登録に際して表示されるWebページの一例を説明するための説明図、図7は、振り込みの入力操作に際して表示画面が移り変わる状態を説明するための説明図である。なお、これら図3、4に示す動作は、メインコンピュータA2のCPU10によって直接制御されない場合もあるが、このCPU10により制御されるものとして説明する。また、ジョブ情報は、

便宜上、ユーザの自宅などにあるパーソナルコンピュータC1から登録されるものとする。

【0037】

まず、図3に示すように、CPU10は、パーソナルコンピュータC1からジョブ情報を登録するためのアクセスに応じ、このパーソナルコンピュータC1に対して送信フォームを提供する(S1)。この送信フォームは、CGIプログラムに基づいてWebページの形式で送出される。特に、振り込み用の送信フォームは、図5に示すように、振込先銀行名、金融機関の種類、支店名、預金種目、口座番号、金額、受取人カタカナ名、受取人漢字名、依頼人カタカナ名、依頼人漢字名、依頼人住所などといった振り込みに関する各種の情報を入力するためのテキストボックスやリストボックスなどが設けられている。パーソナルコンピュータC1上では、送信フォーム中のテキストボックスやリストボックスなどに所定の情報が入力される。また、送信フォームには、後に行う入力操作に際して必要とされるジョブ用暗証番号を入力するためのボックスも設けられている。パーソナルコンピュータC1上でジョブ用暗証番号を入力して登録ボタンをクリックすると、送信フォームに入力された各種情報がジョブ情報として、ジョブ用暗証番号とともにメインコンピュータA2に送られる。

【0038】

パーソナルコンピュータC1上でジョブ用暗証番号が正しく入力されて登録ボタンをクリックされると(S2: YES)、CPU10は、パーソナルコンピュータC1からジョブ情報およびジョブ用暗証番号を受信する(S3)。

【0039】

そして、CPU10は、受信したジョブ情報およびジョブ用暗証番号に対応してジョブ番号を自動的に生成し、このジョブ番号をパーソナルコンピュータC1に対して提示するためのWebページを送出する(S4)。ジョブ番号提示用のWebページは、図6に一例として示すような内容でパーソナルコンピュータC1の画面上に表示される。このジョブ番号が後の入力操作に際してジョブ用暗証番号とともに用いられることとなる。

【0040】

最終的に、CPU10は、ジョブ情報およびジョブ用暗証番号、ならびにジョブ番号を互いに関連づけ、これらをエントリジョブ情報としてストレージデバイス13に登録した後（S5）、このジョブ情報登録処理を終える。

【0041】

S2において、ジョブ用暗証番号が正しく入力されない場合や、登録ボタンがクリックされない場合（S2:NO）、CPU10は、S1に戻る。なお、ジョブ用暗証番号が正しく入力されない場合には、その旨の注意を促すWebページをパーソナルコンピュータC1の画面上に表示させた後、S1に戻るとしても良い。

【0042】

以上のような処理を行った後、ユーザは、銀行などに出向いて操作機本体A1を直接操作して振り込みを行う。

【0043】

この場合、図4に示すように、CPU10は、初期画面として入力操作部2の画面上にジョブ番号受付画面を表示させる（S11）。これは、図7において「受付番号：」が表示された状態に対応する。

【0044】

ジョブ番号受付画面に応じてユーザによりジョブ番号が入力されると（S12:YES）、CPU10は、画面を切り替えて暗証番号受付画面を表示させる（S13）。これは、図7において「受付番号：78」から「暗証番号：」に表示が切り替えられた状態に対応する。

【0045】

さらに、暗証番号受付画面に応じてユーザによりジョブ用暗証番号が入力されると（S14:YES）、CPU10は、ストレージデバイス13に登録済みのエントリジョブ情報に基づいて、入力されたジョブ番号とジョブ用暗証番号とが正しく対応するものか否かを調べる（S15）。なお、ジョブ用暗証番号を入力する際には、図7に示すように「暗証番号：****」として暗証番号がマスキング表示され、周りの人などに暗証番号が知られないように配慮される。

【0046】

入力されたジョブ番号とジョブ用暗証番号とが正しく対応する場合（S15：YES）、CPU10は、スタートボタン操作画面を表示させる（S16）。これは、図7において「STARTを押して下さい」が表示された状態に対応する。

【0047】

最終的に、スタートボタン操作画面に応じてユーザによりスタートボタンが押下されると（S17：YES）、CPU10は、ジョブ番号およびジョブ用暗証番号に対応したジョブ情報をストレージデバイス13から呼び出し、そのジョブ情報に基づいて所定の振り込み処理動作を行った後（S18）、この入力操作処理を終える。つまり、先の送信フォームに従って入力された各種情報に基づいて、現金出納部3に収められた紙幣や硬貨が内部に取り込まれ、あるいはユーザの預金口座などから振り込み分の金額が引き落とされ、それに応じた入金金額が相手先の口座に振り込まれるのである。

【0048】

S17において、ユーザによりスタートボタンが押下されない場合（S17：NO）、CPU10は、スタートボタンが押下されるまでS16に戻って待機する。

【0049】

S15において、入力されたジョブ番号とジョブ用暗証番号とが正しく対応しない場合（S15：NO）、CPU10は、入力のやり直し画面を表示させた後（S19）、最初のS11に戻る。

【0050】

S14において、ジョブ用暗証番号が入力されない場合（S14：NO）、CPU10は、ジョブ用暗証番号が入力されるまでS13に戻って待機する。

【0051】

S12において、ジョブ番号が入力されない場合（S12：NO）、CPU10は、ジョブ番号が入力されるまで最初のS11に戻って待機する。

【0052】

したがって、上記した情報処理システムによれば、ユーザは、振り込みなどの

ために複雑で面倒な入力操作手続きに関する一連の事項をジョブ情報とし、このジョブ情報を自宅などのパーソナルコンピュータC1などを用いて落ち着いた環境の下で作成できる一方、インターネットを介してキャッシュディスペンサー機構AのメインコンピュータA2に登録しておくことができる。

【0053】

また、そうしてメインコンピュータA2に登録されたジョブ情報を用い、実際に操作機本体A1を使用する際には、ジョブ番号と暗証番号とを入力するだけでほとんど必要な一連の入力操作を速やかに終わらせることができ、実際、振込先銀行名、金融機関の種類、支店名、預金種目、口座番号、金額、受取人カタカナ名、受取人漢字名、依頼人カタカナ名、依頼人漢字名、依頼人住所などといった振り込みに関する非常に多くの情報をその場で入力する必要はないので、操作機本体A1を直接使用する際の入力操作性を飛躍的に改善することができる。

【0054】

さらに、操作機本体A1を使用して入力操作を行う場合には、あらかじめ登録しておいたジョブ情報をジョブ番号や暗証番号により指定するだけで良いので、入力操作の仕組みが単純となり、究極的には、図7に示すような非常にシンプルな入力操作部2を構成することができ、入力操作のための構成部品を少数化・小サイズとしてコストダウンを図ることができる。

【0055】

なお、本願発明は、上記の実施形態に限定されるものではない。

【0056】

情報処理装置としては、操作機本体A1とメインコンピュータA2とを別体としたキャッシュディスペンサー機構Aを一例に挙げたが、コピー機やファクシミリ装置など、その他入力操作を必要とするものであれば本願発明を適用できるのは言うまでもない。特に、操作機本体A1とメインコンピュータA2とは、必ずしも別体とする必要はなく、一体としたものであっても良い。一方、コピー機やファクシミリ装置などの場合には、インターネット上でデータベースサーバとして機能するコンピュータを別に用意し、それをコピー機本体やファクシミリ装置本体に接続した形態とすることができる。

【0057】

図1には、自宅以外の勤務先や出張先、あるいはコンビニエンスストアなどに設置されたコピー機Xやファクシミリ装置Yも示すが、これらのコピー機Xやファクシミリ装置Yについても、上記キャッシュディスプレイ機構Aと同様に情報処理装置として用いることができる。

【0058】

図8は、コピー機操作のジョブ情報の登録に際して表示されるWebページの一例を説明するための説明図、図9は、コピー機の操作パネルの一例を説明するための説明図であって、自宅以外の場所でコピー機Xを利用する場合には、あらかじめ自宅などのパーソナルコンピュータC1などを操作し、実際の操作パネルに対応する送信フォームを用いて一連の操作をジョブ情報としてコピー機Xに登録しておくことができる。このような送信フォームを用いれば、図8に示すように、原稿種類、原稿濃淡、読取濃度、用紙選択、倍率、両面指定、ソート/スタック、部数などといったコピー操作に関する各種の情報をジョブ情報としてジョブ用暗証番号とともに登録しておくことができる。実際にコピー機Xを使用する際、ユーザは、図12に示すような従来のコピー機の操作パネル部で一連の設定事項を入力する必要もなく、図9のような入力操作部2Aに対してジョブ用暗証番号を入力するだけで良く、コピー機Xを使用する際の操作ミスを可及的になくすることができる。

【0059】

一方、図10は、ファクシミリ装置操作のジョブ情報の登録に際して表示されるWebページの一例を説明するための説明図、図11は、ファクシミリ装置の操作パネルの一例を説明するための説明図であって、自宅以外の場所でファクシミリ装置Yを利用する場合にも、あらかじめ自宅などのパーソナルコンピュータC1などを操作し、実際の操作パネルに対応する送信フォームを用いて一連の操作をジョブ情報としてファクシミリ装置Yに登録しておくことができる。このような送信フォームを用いれば、図10に示すように、読取濃度、原稿種類、ハーフトーン、通信相手先などといったファクシミリ操作に関する各種の情報をジョブ情報としてジョブ用暗証番号とともに登録しておくことができる。実際にフ

ファクシミリ装置 Y を使用する際、ユーザは、図 1 3 に示すような従来のファクシミリ装置の操作パネル部で一連の設定事項を入力する必要もなく、図 1 1 に示すような入力操作部 2 B を用いてジョブ用暗証番号を入力するほか、通信相手先の電話番号を呼び出したりするだけで良く、ファクシミリ装置 Y を使用する際の操作ミス を 可及的になくすることができる。

【 0 0 6 0 】

また、上記実施形態によれば、CGI プログラムに基づいて送信フォームがパーソナルコンピュータ C 1 などに提供されたとしたが、他の実施形態としては、ジョブ情報の作成から送信登録までの一環した手続きをパーソナルコンピュータ C 1 上で実行されるプログラムに基づいて行うとしても良い。この場合、パーソナルコンピュータ C 1 とメインコンピュータ A 2 との間で静的にジョブ情報などがやり取りされる。

【 0 0 6 1 】

CGI プログラムのほかには、WWW サーバの拡張機能の一つとして動的に Web ページを生成する ASP (Application Service Provider) プログラムなどを適用できる。

【 0 0 6 2 】

さらに、情報の伝達路となる通信ネットワーク N は、インターネットに限らず、パソコン通信やジョブ情報登録のためのみに構築された閉鎖的なネットワークであっても良い。

【 0 0 6 3 】

ジョブ用暗証番号は、必ずしも必要とするものではなく、キャッシュカードなどの磁気記録部分に記録されたカード用暗証番号を代用しても良い。

【 0 0 6 4 】

【発明の効果】

以上説明したように、本願発明によれば、ユーザは、複雑で面倒な入力操作手続きに関する事項をジョブ情報としてまとめ、このジョブ情報を外部の通信端末装置を使用して落ち着いた環境の下で作成できる一方、通信ネットワークを介して情報処理装置に登録しておくことができる。また、そうして情報処理装置に登

録されたジョブ情報を用い、必要な一連の入力操作を速やかに終えることができ、実際に入力操作を行う必要はないので、情報処理装置を直接使用する際の入力操作性を飛躍的に改善することができる。さらに、情報処理装置を使用して入力操作を行う場合には、登録済みのジョブ情報を指定するだけで良いので、入力操作の仕組みが単純となり、入力操作のための構成部品を簡素化してコストダウンを図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本願発明の一実施形態として、情報処理装置を含む情報処理システムの全体を示す概要図である。

【図 2】

情報処理装置としてのキャッシュディスプレイ機構の構成を示すブロック図である。

【図 3】

ジョブ情報を登録する場合の動作手順を示すフローチャートである。

【図 4】

振り込みの入力操作を行う場合の動作手順を示すフローチャートである。

【図 5】

ジョブ情報の登録に際して表示される W e b ページの一例を説明するための説明図である。

【図 6】

ジョブ情報の登録に際して表示される W e b ページの一例を説明するための説明図である。

【図 7】

振り込みの入力操作に際して表示画面が移り変わる状態を説明するための説明図である。

【図 8】

コピー機操作のジョブ情報の登録に際して表示される W e b ページの一例を説明するための説明図である。

【図 9】

コピー機の操作パネルの一例を説明するための説明図である。

【図 1 0】

ファクシミリ装置操作のジョブ情報の登録に際して表示される W e b ページの一例を説明するための説明図である。

【図 1 1】

ファクシミリ装置の操作パネルの一例を説明するための説明図である。

【図 1 2】

従来のコピー機における操作パネル部の一例を示す図である。

【図 1 3】

従来のファクシミリ装置における操作パネル部の一例を示す図である。

【符号の説明】

1	マイコン制御部
2, 2 A, 2 B	入力操作部
3	現金出納部
1 0	C P U
1 1	R O M
1 2	R A M
1 3	ストレージデバイス
1 4	インターフェイス
1 5	ネットワーク接続部
1 6	本体通信部
A	キャッシュディスプレイ機構（情報処理装置）
A 1	操作機本体
A 2	メインコンピュータ
C 1 ～ C 3	パーソナルコンピュータ（通信端末装置）
D	携帯型電話機（通信端末装置）
N	通信ネットワーク
X	コピー機

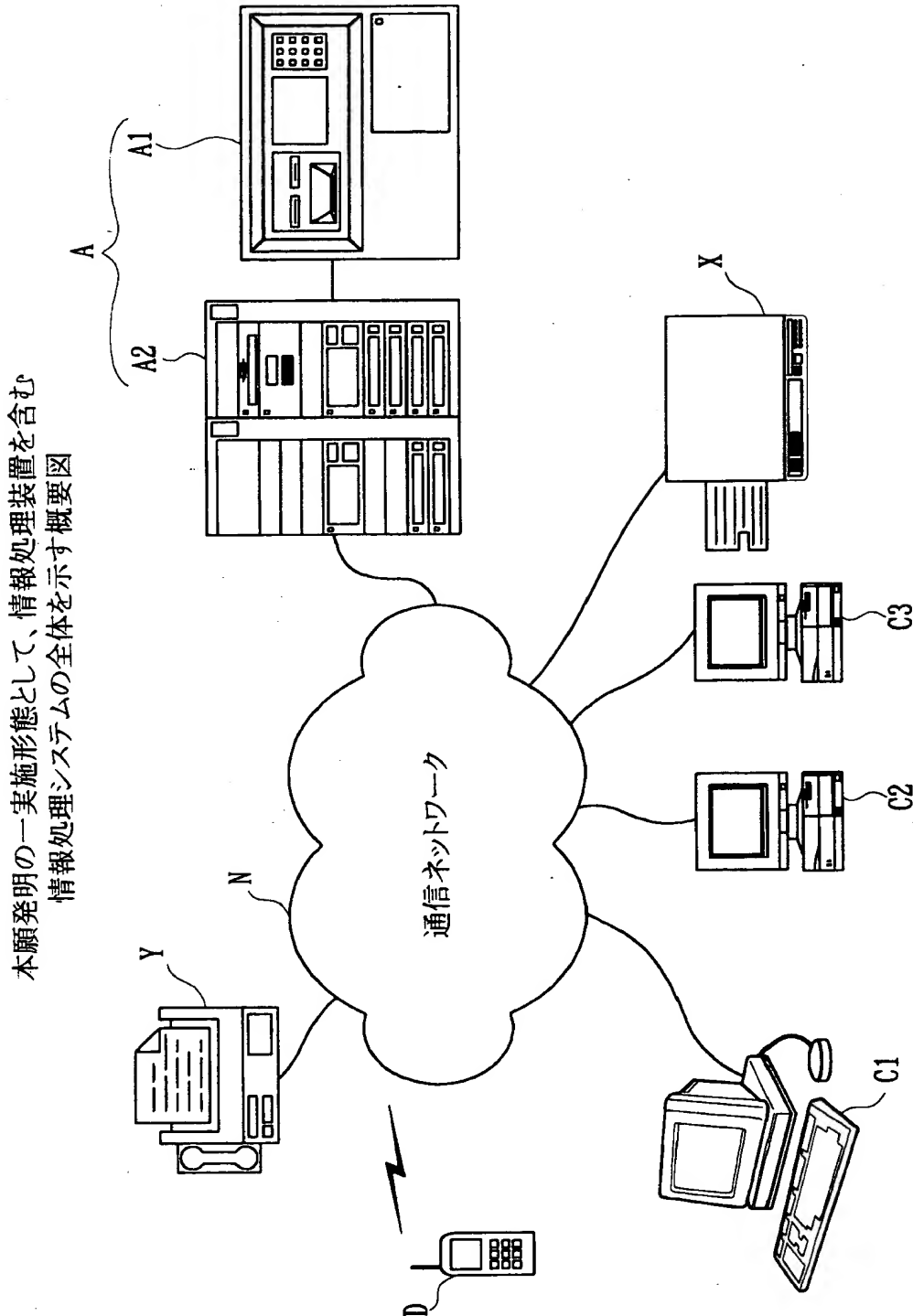
Y

ファクシミリ装置

【書類名】

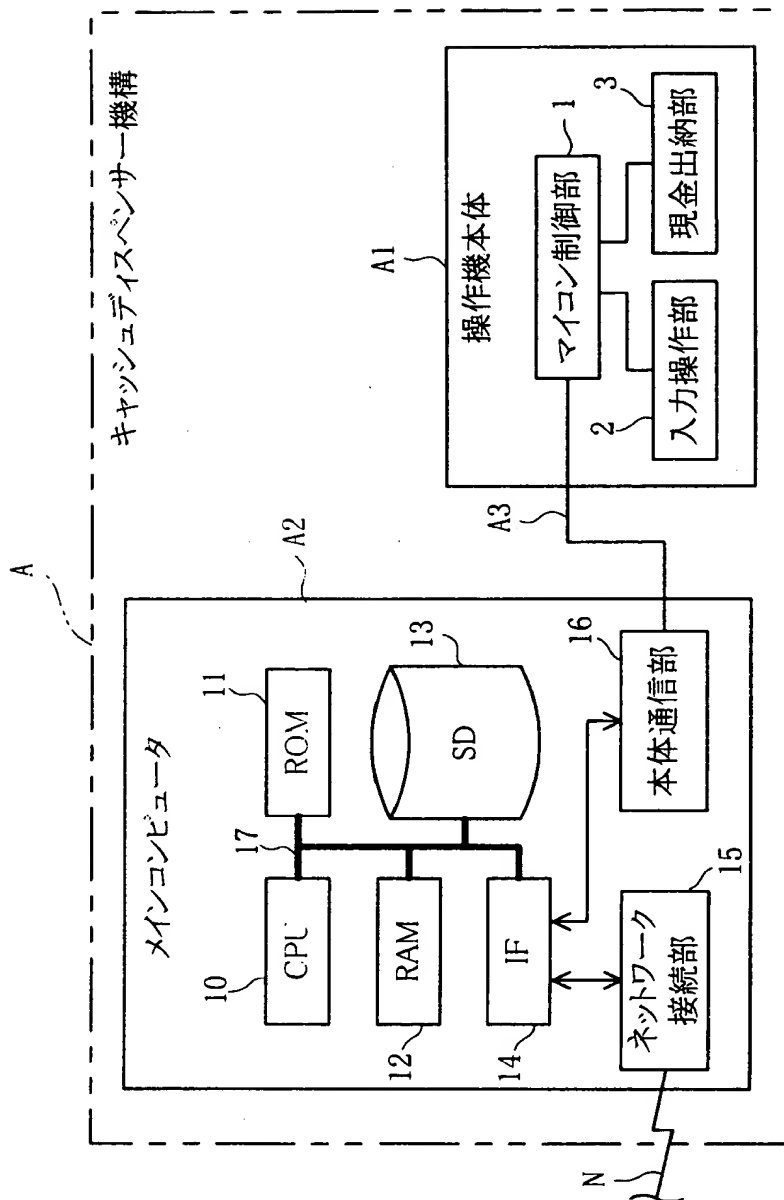
図面

【図 1】



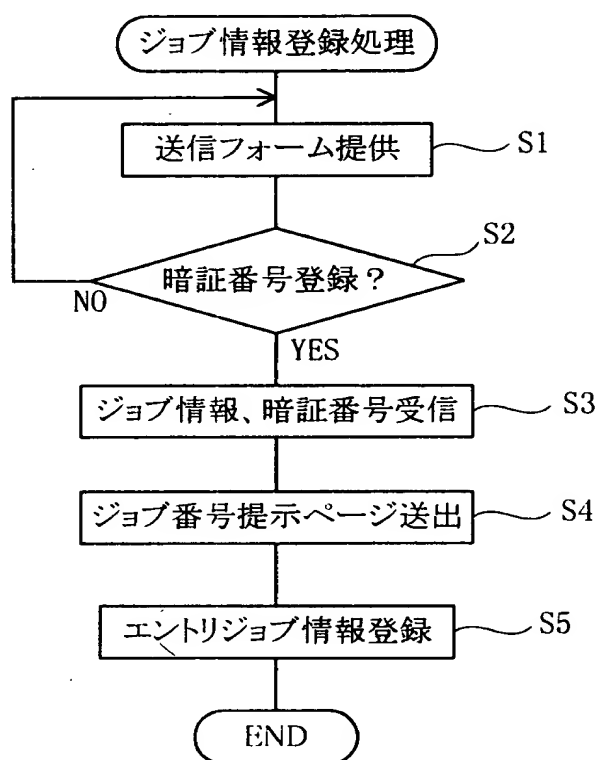
【図2】

情報処理装置としてのキャッシュディスプレイサー機構の構成を示すブロック図



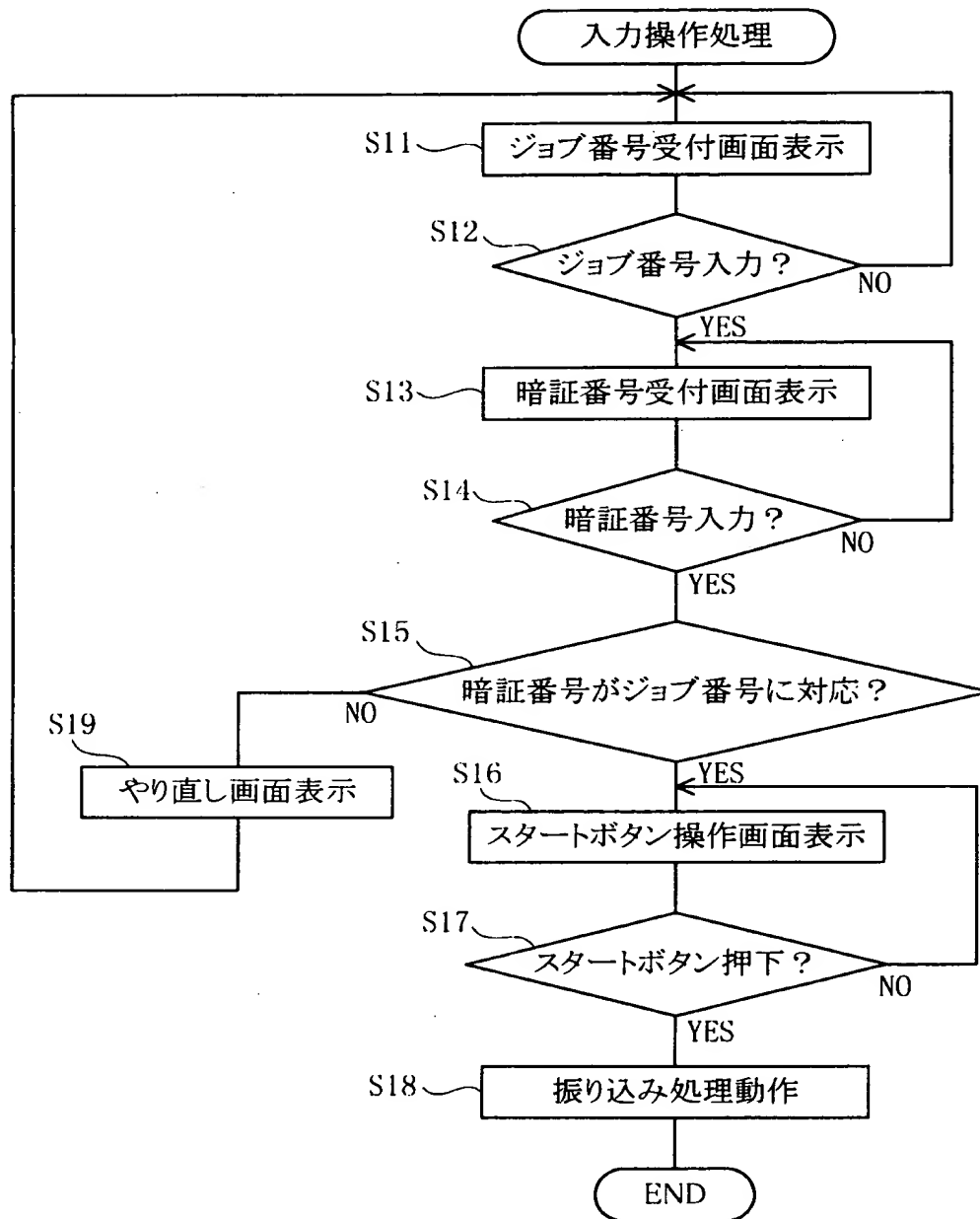
【図 3】

ジョブ情報を登録する場合の動作手順を示すフローチャート



【図 4】

振り込みの入力操作を行う場合の動作手順を示すフローチャート



【図 5】

ジョブ情報の登録の際に表示されるWebページの一例を説明するための説明図

お振り込み

振込先銀行名: ○×

種類:

支店名: 明石

支店

普通
当座
貯蓄

預金種目: 貯蓄

口座番号: 345678

金額: 1,000 円

お受取人(カタカナ): ヤマダハナコ

お受取人(漢字): 山田花子

ご依頼人(カタカナ): サトウビーサク

ご依頼人(漢字): 佐藤美作

ご依頼人(住所): 東京都新宿区

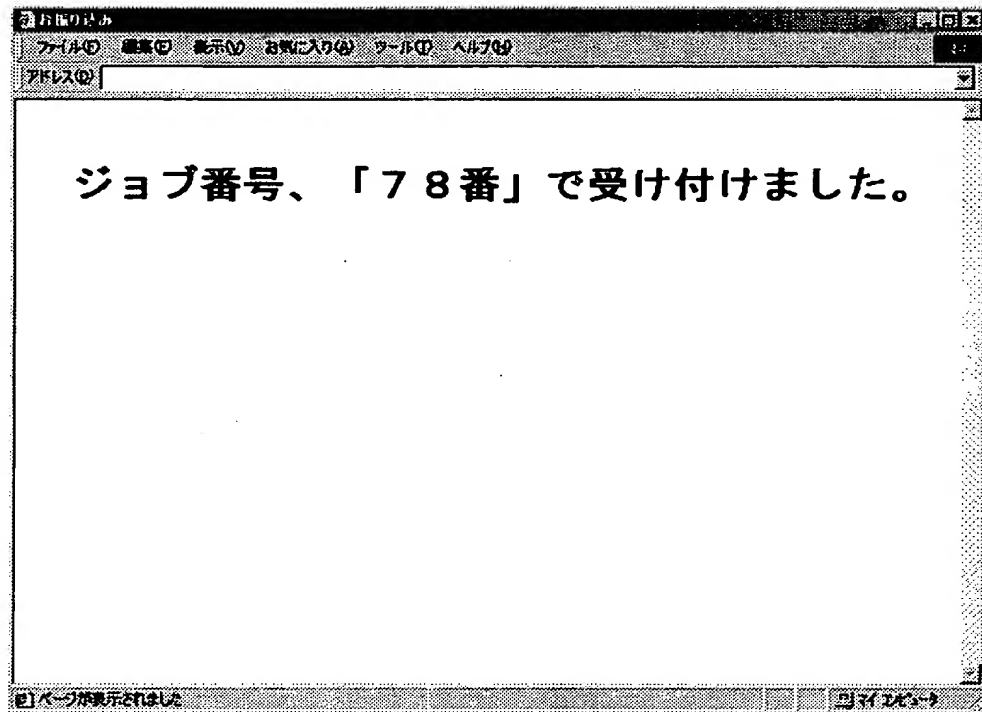
暗証番号:

登録

リセット

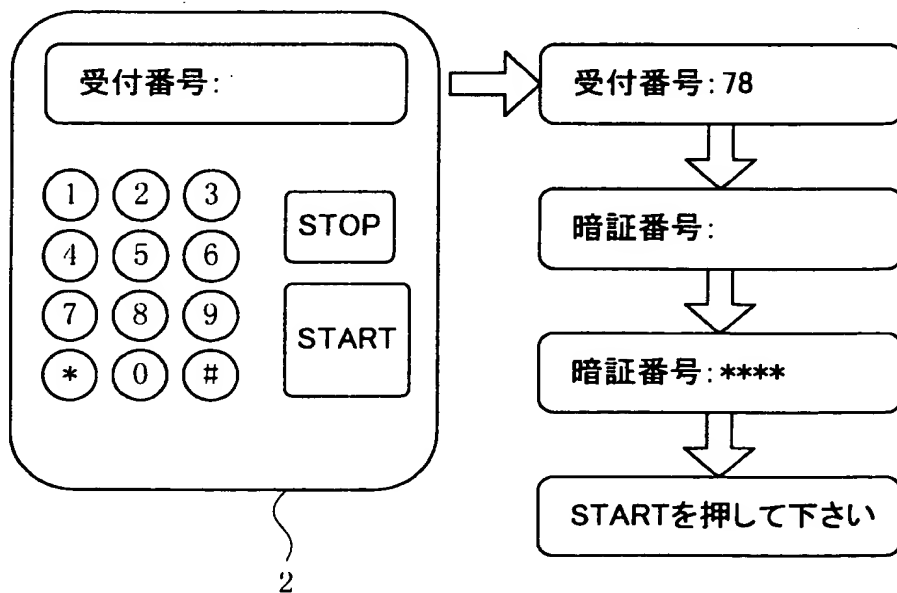
【図 6】

ジョブ情報の登録に際して表示されるWebページの一例を説明するための説明図



【図 7】

振り込みの入力操作に際して表示画面が移り変わる状態を説明するための説明図



【図 8】

コピー機操作のジョブ情報の登録に際して表示される
Webページの一例を説明するための説明図

コピー機操作パネル

原稿種類: ☒ 文字 ☐ 写真

原稿濃淡: ☐ 濃い原稿 ☒ 淡い原稿

読取濃度: ☒ うすく ☐ こく

用紙選択: ☒ A4 ☐ B4 ☐ A3 ☐ 手差し

倍率: ☒ 等倍 ☐ 70% ☐ 140% ☐ その他

両面指定: ☒ 片面→片面 ☐ 片面→両面 ☐ 両面→両面 ☐ 両面→片面

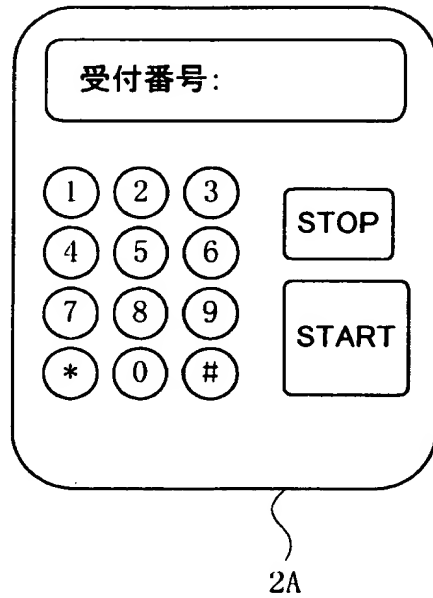
仕上がり: ☐ ソート ☒ スタック

部数:

暗証番号:

【図 9】

コピー機の操作パネルの一例を説明するための説明図



【図10】

ファクシミリ装置操作のジョブ情報の登録に際して表示される
Webページの一例を説明するための説明図

FAX操作パネル

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) 登録(R) 移動(M) お気に入り


アドレス(A) D.W.

FAX操作パネル

読取濃度: ☐ ごく ☒ ふつう ☐ うすく

原稿種類: ☒ ふつう字 ☐ 小さな字 ☐ 細かい字

ハーフトーン: ☐

通信相手先: 

暗証番号:

FAX 1234567

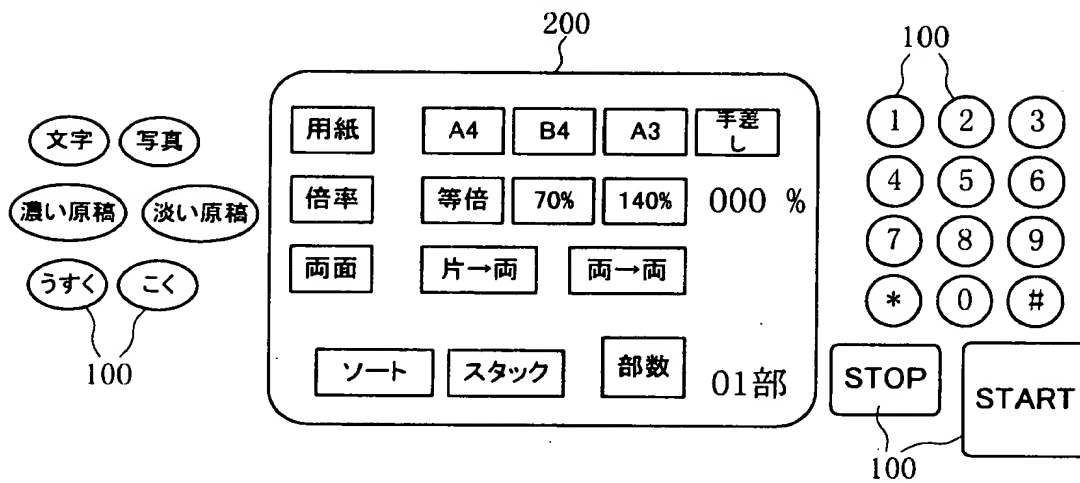
【図 1 1】

ファクシミリ装置の操作パネルの一例を説明するための説明図



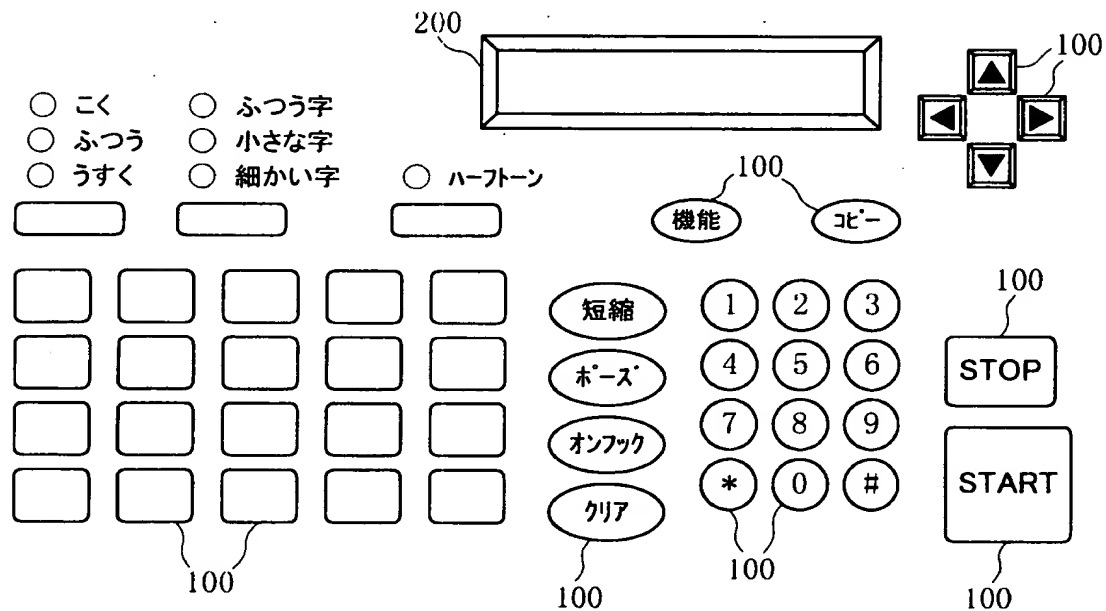
【図 1 2】

従来のコピー機における操作パネル部の一例を示す図



【図 13】

従来のファクシミリ装置における操作パネル部の一例を示す図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 必要な入力操作手続きに関する情報を、落ち着いた環境の下であらかじめ作成して登録しておくことができ、そうして登録された情報を用いて入力操作性を飛躍的に改善でき、入力操作の仕組みを単純化してコストダウンを図ることができる情報処理装置を提供する。

【解決手段】 メインコンピュータ A 2 の CPU 1 0 は、操作機本体 A 1 上で本来行うべき入力操作手続きに関する事項をジョブ情報とし、このジョブ情報を通信ネットワーク N を経由してパーソナルコンピュータから受信する一方、ストレージデバイス 1 3 を用いて登録管理する。操作機本体 A 1 の入力操作部 2 を介してユーザがジョブ番号および暗証番号を入力すると、そのジョブ番号に応じたジョブ情報に基づいて振り込み動作などが行われる。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[592019877]

1. 変更年月日	1999年 9月22日
[変更理由]	住所変更
住 所	兵庫県加東郡社町佐保35番
氏 名	富士通周辺機株式会社